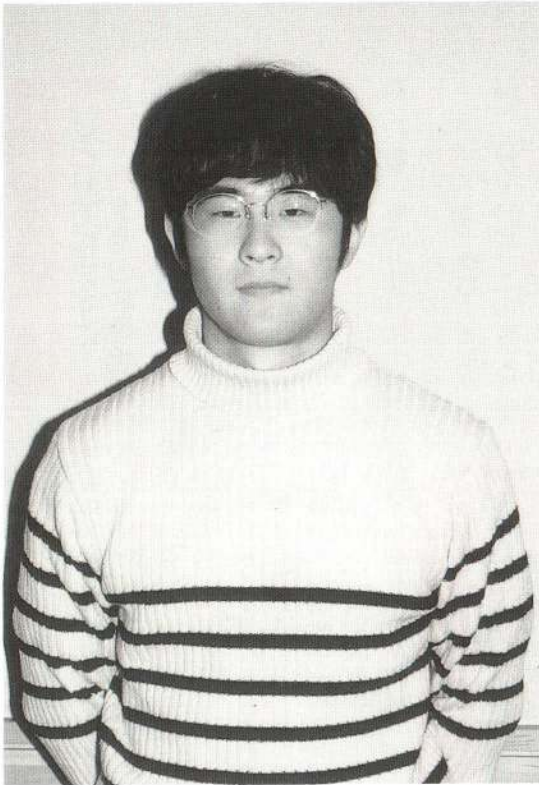


# キラットさん

BE AMBITIOUS

秋田職業能力開発短期大学校 2年

野本 喜 敬 さん



今回のキラットさんは、職能短大でも情報処理を学んでいる野本さんです。野本さんからは、コンピューターについてわかりやすい説明までしていただきました。コンピューターを動かすには、プログラムという、物事を行うための手順をコンピューターの言葉で入力する必要があります。そして、そのプログラムの一カ所でも違っていると動かないそうです。そのため、「自分で組み立てたプログラムが思い通りに動いたときは、何ともいえない喜びを感じます。また、ある結果を導きだすプログラムを組むとき、正しい手順というのがなく、百人いれば百通りのプログラムになるところが、また魅力です」と話してくれました。そこで、いかに速く、効率よいプログラムを組むかが腕の見せ

どころなのです。

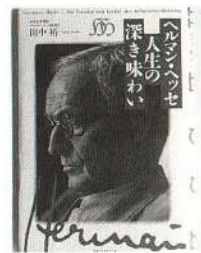
野本さんの性格は、のんびり屋でマイペース。そのため、友人に自分の血液型がB型と言ってもなぜか信じてもらえないそうです。そんな彼も、いざコンピューターに向かうと、性格とは裏腹に素早い動きでキーボードをたたきます。学生生活はというと、「入学して間もないころは、軽いホームシックにかかってしまいました。今では寮生活が楽しいです」と、もうすぐ卒業なのが名残り惜しもうでもありました。

野本さんは大館市内の企業への就職が決まっているそうです。出身地の横手市や県外で働くという選択肢もあったのですが、学んだことを生かせ、自分の力を発揮できると思ったことが決め手になったそうです。ただ、両親のほうはといいますと、帰ってきて欲しいというのが本音のようです。コンピューターの世界は、技術革新が激しく、就職してからも毎日が勉強になるそうです。これからの目標を聞きましたら、「会社で中心のな人材になることです」としっかりと決意を述べてくれました。就職先では、差し当たって、いろいろなことにチャレンジしたいという野本さんです。話を伺っていますと、その無限の可能性の中で、何年か後に会社のキーパーソンとして活躍している姿が思い浮かびました。



## 私の本棚

中央図書館新着図書



『ヘルマン・ヘッセ  
人生の深き味わい』

田中 裕 著  
KKベストセラーズ

『車輪の下』のヘルマン・ヘッセがこの数年また見直されている。「人は成熟するにつれて若くなる」や「庭仕事の愉しみ」が相次いでベストセラーとなった。

ヘッセの研究書は数多く出版されているが、この本はヘッセの生き方を通して自分の生き方を考えてみようという、これまでになかったもの。あなたも、老いの達人ヘッセから「よく生きる」ことを学んでみませんか？

### 一般書

◇龍馬残影(津本陽) ◇インザ・ミッドナイト(村上龍) ◇夏の少年(川西蘭) ◇銀行屋研次郎事故簿上、下(山田智彦) ◇うるわしき日々(小島信夫) ◇ぶっぼうそうの夜(丸山健二) ◇白昼堂々(長野まゆみ) ◇侯爵サド(藤本ひとみ) ◇眠れぬ森の美女たち(香山リカ) ◇罅(北方謙三) ◇砂の密約孫文外伝(伴野朗) ◇血(大原まり子) ◇新宿ゴールデン街の人たち(田中小実昌) ◇シカゴ、君のいた街(武谷牧子) ◇ひとでなし(野坂昭如) ◇舞台裏の喜劇人たち(林圭一) ◇最後の将軍徳川慶喜(新装版)(司馬遼太郎) ◇囚われの恋(メリン・シモンズ) ◇私が私でない人たち(ラルフ・アリンソン) ◇ジェラルドのゲーム(ステイヴン・キング) ほか

### 児童書

◇かわいそうなぞう(つちやゆきお) ◇まほうのえのぐ(林明子) ◇ぐりとぐらのかいすいよく(なかがわりえこ) ◇ズッコケ三人組ハワイに行く(那須正幹) ◇森のネズミの用品大会(岡野薫子) ◇公害を知らせきたかっぱ(松谷みよ子ほか編) ◇ミクロからの脱出(森下研) ◇日本の恐竜がめざめた(国松俊英) ほか

◇2月のテーマ関連図書コーナー・・・2月6日(金) 14時30分  
◇親子読みかかせ会・・・2月11日、15日、26日  
中央図書館の休館日・・・2月11日、15日、26日